

# 令和3年度学校関係者評価

中央歯科衛生士調理製菓専門学校 調理製菓総合学科

＜教職員によるアンケート 調査結果＞

## 令和3年度学校関係者評価委員

### ■保護者

内藤さゆり様 調理製菓総合学科 内藤恋奈さん 保護者

### ■企業関係者

阿部義道様 株式会社東京ドーム・リゾート オペレーションズ  
熱海後楽園ホテル 総務 副支配人

### ■他校関係者

高野信広様 中央調理製菓専門学校静岡校 上級調理経営学科 学科長

## 1. 教育理念・目標

### 【自己評価結果】

		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A

### 【現状の問題点】

ほとんど改善されており問題は無いと思われる。

### 【改善のための方策】

学生のクレドを唱和させることを控えているので、より浸透させる為に日直が読み上げだけではなく、その項目に対して学生が感想を言い、教員も意見を言う。

### 【関係者評価】

学生にも教員にもクレドはとても良いと感じる。持ち帰りたい。

2. 学校運営		
【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	A
13	BSCIは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に改善されているが、評価が高すぎると思われる項目もあるように思える。正確な自己評価となっているか見直しも必要ではないか。		
【改善のための方策】		
自己評価を一部に囚われず俯瞰的に物事を判断していく。シラバス等の書式が個々で違い不揃いの為、業務が非効率になっている。統一を図り解りやすく効率よくする。		
【関係者評価】		
特にありません。		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	B
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	B
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
コロナ禍で授業評価や研修参加が十分できなかったが、全体としては大きな問題はない。今後も改善に努めたい。		
【改善のための方策】		
リモートでの研修は参加できたが、実技を伴うような研修はできなかったのがコロナの状況にもよるが実施できるようであれば必ず参加する。 実習シラバスについては静岡校の教員とも議論して検討する。 行事等実施後の反省会で出た意見を即実行に移す。		
【関係者評価】		
切り捨てない教育の考え方が良い。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
大きく完全されており、特に問題はない。		
【改善のための方策】		
コロナ禍で求人数の減少があったが、早め早めと就職活動を行った。就活に対して受け身の学生が多くみられるので、常に呼びかけをして意欲を高める。悩みを抱えている学生がいないか常に学生一人一人に気を配り、声掛けや相談しやすい雰囲気づくりをする。		
【関係者評価】		
既卒者も大いに受け入れていきたい。 率や就職先を掲示しているのは良い。		就職

5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
特に大きな問題はなかった。進路活動については、新たに作成した求人票サイトを活用するようにしていきたい。		
【改善のための方策】		
カウンセリングの先生に相談する学生が増えている、しかし、授業時間と合わない時もあるので先生と歯科衛生学科と相談する。 教員分のヘルメット、さすまたの購入。		
【関係者評価】		
企業講話は学生も企業も直接関われる機会なのでいいと思う。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
機器整備計画が策定できるようになってきた。		
【改善のための方策】		
機材の状態を常に気に向け、冷蔵庫等のフィルター掃除などこまめに行い、機器を長持ちさせる。修理困難な老朽化した物に関しては予算をとり、毎年少しずつ買い替えを行う。学生にも道具や機械の取り扱いをしっかりと指導する。		
【関係者評価】		
特にありません。		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
募集活動は順調に行うことができた。		
【改善のための方策】		
効果大きい学生によるSNSに力を入れていく。内容を学生と話し合いをしながら構築する。 SDGsへの取り組みや地域貢献にも協力し、学園の信頼度や認知度を上げていく。 学生の満足度を上げることで次の学生へと繋がっていくと考える。		
【関係者評価】		
SNSを通じて学生を通じてリアルなものを発信するのはとても良い。		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・ 中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
39	・ 学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
特に問題はなかった。		
【改善のための方策】		
これから材料費が上がり、光熱費等も上がっていくと思われる為、献立内容をシラバスを崩すことなく見直し、無駄を出さないような仕入れ方する。 購入の際は必要なもの、不必要なものを購入前に再度皆で確認を行う。		
【関係者評価】		
特にありません。		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
特に問題となるところはないが、学生のハラスメントに対する意識も年々変わってくるので、今後も改善に努めたい。		
【改善のための方策】		
教務室の机の上に名簿など個人情報になるような資料は放置しない。各自のパソコンのデスクトップも気を付ける。 ハラスメント委員会が定期的に行われることで、科内でも話し合い、その時世のハラスメントを理解し防止に努める。		
【関係者評価】		
今の時代に合わせて変えているところ、客観的に評価しているところがいい。		学
校の信頼度が上がりました。		